

会場案内図

シルクホテル 2階 錦の間

〒395-0083 長野県飯田市錦町1-10 TEL 0265-23-8383 FAX 0265-24-8383



交通案内 東京方面 新宿駅西口より中央高速バスで4時間15分
名古屋方面 名鉄バスセンターから高速バスで2時間

申込方法

1) 申込先：公益財団法人南信州・飯田産業センター EMCシンポジウム事務局 担当：木下
〒395-0003 長野県飯田市上郷別府3338-8
TEL 0265-52-1630 FAX 0265-21-3134

2) 申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、
FAX または E-mail: iidaemc@isilip.com でお申し込みください。
なお、今回のシンポジウムに使用する講演テキストは、原則、事前ダウンロードによる電子データでの配布とさせていただきます。詳細は、申込後、お知らせ致します。

3) 申込締切日：10月23日(木)、ただし定員(100名)になり次第締め切りとさせていただきます。

4) 参加費：お一人様 20,000円
参加費の振り込みは、10月20日(月)までをお願いします。入金確認後、受講票をお送りします。

振込先：飯田信用金庫城東支店
普通口座No. 3721722 名義名:EMCイイダ (振込手数料はご負担ください。)

※宿泊をご希望の方は、当センターにてまとめて予約しますので、お申し出ください。
なお、予約は、シンポジウム会場のシルクホテル[本館5,700円税込(朝食付)、又は、新館7,992円税込(朝食付)]とさせていただきます。
その他の宿泊先をご希望の方は、飯田駅前観光案内所(TEL 0265-52-2946)に直接お問い合わせください。

5) 東京方面・名古屋方面からお越しの場合、交通機関については高速バス又は電車をご利用ください。

高速バス時刻表URL <http://www.shinnan.co.jp/>
電車時刻表URL http://ekikara.jp/newdata/ekijikoku/2301072/down1_20205121.htm
up1_20205121.htm

(第15回)EMCシンポジウムIIDA 2014 参加申込書

FAX 0265-21-3134 または E-mail iidaemc@isilip.com

会社名	所在地			
氏名	所属部課	TEL	FAX	E-mail
氏名	所属部課	TEL	FAX	E-mail
利用交通機関	宿泊申込	シルクホテル	請求書	備考
自家用車 ・ JR ・ バス	要 ・ 不要	本館 ・ 新館	要 ・ 不要	

15th EMC symposium IIDA 2014

第15回 EMCシンポジウムIIDA 2014

～電安法・メガソーラー等の
最近の話題とEMC対策技術～

シンポジウム開催のご案内

● 開催期日 2014年10月30日(木) 13:00から
2014年10月31日(金) 15:00まで

● 会場 シルクホテル 2階 錦の間
〒395-0083 長野県飯田市錦町1-10

最近、国内においては、原子力発電の制限による電力需給のバランスが崩れによる電力不足の心配により、省エネルギーや自然エネルギーへの関心が高まっています。

また、モーターのブラシレス化、半導体素子の高性能化によるインバータ小型化により、EMI対策も必要になっています。今後、更にEMCに対する要求が増すことが予想されます。

そこで、第15回EMCシンポジウムIIDA2014では、このような背景を踏まえ、電安法・メガソーラー等の最近の話題と様々なEMC対策技術について、業界等で活躍されている方々をお招きし、講演して頂きます。

毎回好評をいただいております講師の方々及び技術者間の技術情報交流会も開催いたします。EMC最新情報収集の場として、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

公益財団法人 南信州・飯田産業センター
理事長 牧野光朗

主催：公益財団法人 南信州・飯田産業センター

後援：関東経済産業局、一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
中部エレクトロニクス振興会、長野県、公益財団法人長野県テクノ財団
飯田市、下伊那郡町村会、飯田商工会議所、長野県商工連南信州支部広域協議会
南信州広域連合、飯田精密機械工業会、飯田電子工業会、飯伊光学工業会

開
会
式

13:00 開会あいさつ
~
13:10 本シンポジウムについて

基
調
講
演

13:10 電気用品安全法における将来的な技術基準階層化
~
13:50 経済産業省 商務流通保安グループ製品安全課 佐々木 文人
電気用品安全法において、技術の進歩や新製品の開発に柔軟に対応できるようにするため、品目毎に技術基準を詳細に定める現行の仕様規定を改め、電気用品の安全に必要な性能を定めた性能規定とする改正を行った(平成25年7月1日公布、本年1月1日施行)。これについて、現状の進捗状況や将来的な整備方針を紹介する。

13:50~14:00 休憩

講
演
1

14:00 メガソーラーの概要と今後の課題
~
15:00 中部電力株式会社 工務技術センター風力・メガソーラーグループ 主幹 進 豊一
太陽光発電は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行された2012年以降、導入量が著しく伸び、メガソーラーという1MW以上の大規模な太陽光発電所の導入が進んでいる。今回は、メガソーラーの設計・建設・保守等の概要、太陽光発電の特徴と今後の課題および太陽光発電のEMCに関する現状について紹介する。

15:00~15:10 休憩

講
演
2

15:10 CISPR 22およびCISPR 24規格の修正・改訂に関わる検討
~
16:10 経緯について NTTアドバンステクノロジー株式会社 雨宮 不二雄
情報技術装置のEMC規格(CISPR 22とCISPR 24)は初版発行後、何回かの修正・改訂を重ねて現在に至っている。本講演では両規格が規定している測定配置、測定手順、許容値等に関する規定の中から、多くの議論を経て修正・改訂に至った幾つかの案件を取り上げ、どのような議論や判断のもとに規格として発行する運びとなったのか、その経緯の概要を紹介する。

16:10~16:20 休憩

事
例
発
表

16:20 ①GPS機器評価精度向上のための、アンテナ放射パターン測定
~
17:20 環境の改善 セイコーエプソン株式会社 事業基盤強化本部 CS品質保証・環境推進部 EMC試験グループ 野々山 尚希
GPS機能付き機器に搭載される小型アンテナの特性を精度よく測定することを目標として、当社保有のアンテナ放射パターン室の測定性能改善を行った。その内容について紹介する。
②EMCサイト利用での事例紹介 長野県工業技術総合センター 精密・電子技術部門 電子部 主任研究員 蜜澤 雅之
電子機器販売ではEMC規制対応が必須ですが、総ての企業で個別に全EMC設備の準備はできません。代わりに長野県工業技術センターで民生用機器に対するEMC対応施設を設置し、試験評価だけでなく対策助言等を通して、多くの企業の皆様への支援を実施しています。測定・対策時に発生した特徴ある事例を紹介いたします。

17:50 EMC技術情報交流会
~
19:50

講
演
3

9:15 最近の通信機器のEMCトラブル事例とその対策
~
10:20 NTT東日本 ネットワーク事業推進本部 サービス運営部 技術協力センター EMC技術担当 担当課長 伊藤 秀紀
通信システムの高速度・広帯域化が進展するなか通信環境も複雑化・高速化している。フィールドでは、雷や電磁ノイズに起因する通信機器の誤動作や故障などのトラブルも多発している。今回は、新たな電磁ノイズ源の出現によるトラブル事例とその対策さらにノイズ源(放射・伝導)特定ツールについて紹介する。

10:20~10:30 休憩

講
演
4

10:30 電磁界に対する人体ばく露の標準化動向
~
11:35 株式会社日立製作所 モノづくり戦略本部 設計改革推進部 技師 横田 等
現在、携帯電話を含め様々な無線機が発する電磁波の安全性の評価が義務付けられている。電磁界ばく露基準とその評価方法に関する概説と測定評価方法の標準化動向について紹介する。

11:35~12:35 昼食

講
演
5

12:35 3相ブラシレスモーターのノイズ対策
~
13:40 株式会社村田製作所 EMI事業部 第2商品開発部 アプリケーション開発課 係長 田中 寛司
近年、省エネルギーの取り組みとしてモーターのブラシレス化が進んでおります。特に車載市場においては電気自動車、小型車向けに今後展開されると予想されます。ブラシレスモーターはブラシモーター同様ノイズの問題があり、今回、三相ブラシレスモーターに対するノイズ対策手法についてご紹介させていただきます。

13:40~13:50 休憩

講
演
6

13:50 SiCインバータのEMI解析とフィルタ設計
~
14:55 株式会社東芝 電力社会システム技術開発センター 電機・電池応用・パワエレシステム開発部 前川 佐理
近年、SiC、GaNデバイスを代表とする半導体素子の高性能化によるインバータ小型化が望まれるが、スイッチング周波数の高周波化によるEMI対策が課題である。本発表では、SiC適用によるEMIの課題に対し、高精度なデバイスモデルによるEMI解析結果と、開発したEMIフィルタの構成について実験とシミュレーションを比較しながら報告する。

閉
会
式

14:55 閉会あいさつ
~
15:00